


街区 (箇所)	30m 格子	調査目的 ※1		土壌採取(掘削工)				障害物 撤去		コア試 料保 管(箱)	井戸 設置	地下水		土壌汚染物質(補足調査)				油臭 油膜 調査	土壌 ガス 調査
		水質	土壌	孔底土層	地盤高 (A.P. m)	孔底高 (A.P. m)	掘進長 (m)	自動 観測 (箇所)	手動 観測 (回)			ハンセン 溶出量 (検体)	シアン 溶出量 (検体)	砒素 溶出量 (検体)	追加※2 シアン 溶出量 (検体)	(検体)	(検体)		
7 (20)	I-14	○	○	Yc上端	6.40	-4.60	11.00	1			1	1	6					11	1
	I-21	○	○	"	8.45	-1.35	9.80				1	1	6					10	1
	I-25	○	○	"	7.01	-0.69	7.70				1	1	6					8	1
	J-7	○	○	"	15.37	-6.53	21.90				1	1	4		1			22	1
	K-7	○	○	"	6.60	-5.50	12.10				5	1	4					13	1
	K-9	○	○	"	15.65	-5.35	21.00				3	1	5		2			21	1
	K-10	○	○	"	13.80	-5.50	19.30				5				1		6	20	1
	K-11	○	○	"	11.71	-5.49	17.20				1	1	4			1		18	1
	K-16	○	○	"	6.53	-4.47	11.00				4	1	5					11	1
	K-23	○	○	"	6.90	-0.50	7.40				3	1	5					8	1
	K-25	○	○	"	9.60	-2.40	12.00				2	1	5					12	1
	L-4	○	○	"	6.52	-5.48	12.00				3	1	6		1		4	12	1
	L-6	○	○	"	5.16	-5.54	10.70				1	1	6					11	1
	L-7	○	○	"	5.12	-5.58	10.70											11	1
	M-4	○	○	"	5.57	-5.13	10.70				1	1	6		1			11	1
	M-24	○	○	"	8.77	-0.03	8.80				1	1	6					9	1
	N-9	○	○	"	4.08	-5.52	9.60				1	1	4					10	1
	N-14	○	○	"	7.90	-4.50	12.40				1	1	1					13	1
	O-19	○	○	"	4.06	-0.54	4.60				1	1	6					5	1
	O-23	○	○	"	4.22	-0.48	4.70				1	1	6					5	1
計	20	17	8	-	-	234.60	4	25	17	17	1	90	0	8	0	1	10	241	20

※1:調査目的
 :鉛直方向の絞り込み不十分箇所(適合確認:1m)の補間
 :鉛直方向の絞り込み不十分箇所(適合確認:なし)の補間
 :地下水モニタリング(地下水位、水質)

「土壌汚染状況調査報告書」(平成14年10月:東京ガス株式会社)における詳細調査(鉛直方向)の絞り込みパターン



※2:追加調査は、補足調査の結果が基準値(土壌汚染対策法)を超過し、絞り込みができなかった地点について補足調査の実施深度から不透水層上面迄1mピッチで採取したコア試料について分析した。

※3:基準値(処理基準)を超過した6項目(ハンセン、シアン、水銀、鉛、砒素、六価クロム)及び水素イオン濃度(pH)、電気伝導度(EC)、溶存酸素量(DO)、塩分濃度、酸化還元電位(Eh)、水温、BOD、銅イオン、T-N(全窒素)、T-P(全りん)とした。このうち、酸化還元電位および水温については、採取後速やかに現場で測定した。

※3:自動観測(H:19.8.17.~H:19.9.21)、手動観測(H:19.8.17.H:19.8.24.H:19.8.31.H:19.9.10.H:19.9.14.H:19.9.21)